

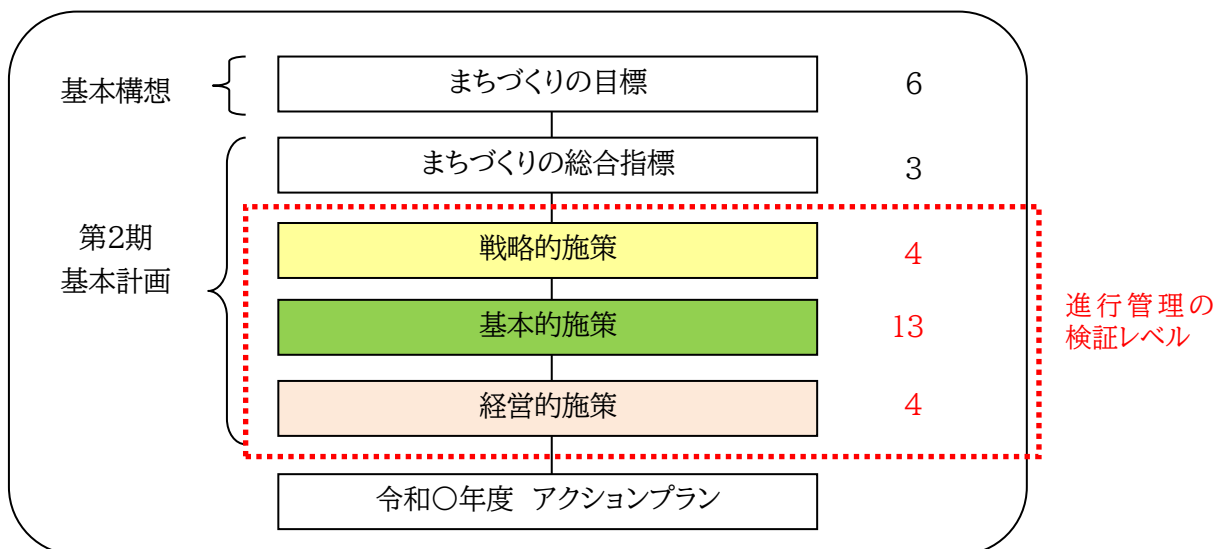
## 第2期基本計画の進行管理方法について(案)

### 1. 評価対象

第6次総合計画(基本構想)では、生駒市の将来都市像「自分らしく輝けるステージ・生駒」を実現するため、6つの『まちづくりの目標』を掲げており、第2期基本計画では、それらの進捗を表す3つの「まちづくりの総合指標」を設定し、まちづくりの分野別に今後必要な基本的な取組の方向性を示す13の「基本的施策」と、基本的施策を推進するために土台となる持続可能な行財政運営における基本的な取組の方向性を示す4つの「経営的施策」を設定している。第2期基本計画の進行管理においては、13の「基本的施策」と4つの「経営的施策」の計17の施策単位を評価対象とする。

また、特に今後の4年間における本市の主要課題の解決を図っていくため、デジタル技術も活用しつつ、分野横断的に推進する「戦略的施策」については、「生駒市デジタル田園都市構想総合戦略」に位置づけられ、その取組の推進にあたっては、産官学金労言等の多様な主体の参画による事業の進捗状況の検証や効果測定が求められるため、併せて評価対象とする。

#### < 施策の体系 >



### 2. まちづくりの総合指標について

「まちづくりの総合指標」3項目については、中間時点となる令和6年度、令和7年度の取組を終えた時点での現状値の確認・報告を令和8年度の総合計画審議会において行うものとする。

令和6年度から令和8年度までの3ヶ年の取組を終えた令和 9 年度に総括的な評価を行うものとし、第3期基本計画に反映を行うものとする。

### 3. 進捗状況の検証

事前に行政内部において、アクションプランに掲載された事業・取組単位のアクションプラン事業評価シート[資料5]及び進行管理検証シート[資料4]を作成のうえ進捗状況の検証・分析を行い、計画の進捗度を測る。その上で、外部委員会(総合計画審議会)において行政内部で測った進捗度について、事業評価シートを参考にしながら進行管理検証シートをもとに審議を行い、審議会からの意見を付した上で、最終的な計画の進捗度とする。

具体的な審議に当たっては、2つの部会に分かれて検証を行う。部会においては、当該施策における担当課出席のうえ審議を行う。全体会2回と部会3回程度で検証報告書を取りまとめる。

#### 4. 検証の体制

総合計画審議会では、審議会委員(15名)を2つの部会(7～8名)に分け、13の基本的施策及び4つの戦略的施策について、下記のとおり第一部会(9施策)と第二部会(8施策分野)に区分して、それぞれの部会において進捗状況の検証を行う。

部会終了後に全体会(第2回)を開催し、持続可能な行財政運営における基本的な取組の方向性を示す4つの経営的施策に関する進捗状況の検証を行うとともに、各施策の検証結果のとりまとめを行い、検証報告書を作成する。

5. 部会別検証分野(案)

部会	施策No.		施策名
第一部会	基本的 施策	1	市民自治活動・学び
		2	人権・多文化共生
		3	こども・子育て支援
		4	学校・教育
		5	高齢者支援・障がい者支援
		6	地域福祉
		7	健康づくり・医療
	戦略的 施策	1	子育て世帯が住みやすい環境づくり
		2	地域共生社会の実現に向けた環境づくり

部会	施策No.		施策名
第二部会	基本的 施策	8	防災・減災・消防
		9(1)	産業・雇用就労
		9(2)	産業・雇用就労
		10	生活環境
		11	脱炭素・循環型社会
		12	街の空間づくり
		13	都市基盤
	戦略的 施策	3	多様な働き方と市内での経済循環の促進
		4	都市ブランドの構築

委員構成

高取 克彦	畿央大学 健康科学部 教授
大谷 裕美子	文部科学省CSマイスター
清水 裕子	畿央大学 健康科学部 准教授
中垣 由梨	CODE for IKOMA 代表
松山 敏宏	生駒市民生・児童委員連合会 会長
長崎 格	生駒市自治連合会 会長
塗本 慎吾	公募市民

委員構成

久 隆浩	近畿大学 名誉教授
田中 晃代	近畿大学 総合社会学部 教授
森 裕之	立命館大学 政策科学部 教授
浦久保 幸浩	連合奈良 西和地域協議会 議長
唐金 吉弘	生駒商工会議所 会頭
堀部 泰史	株式会社南都銀行生駒支店 支店長
澤藤 友絵	公募市民
水野 祐子	公募市民